横浜市立鴨志田緑小学校

学校 HP 更新中　鴨志田緑小学校　検索

学校だより　６月号

令和４年５月３１日発行

ふるさとに学び　ふるさとで遊び　ふるさとを愛する子　～ふれあいかがやき豊かな心～

もっとあいさつ

副校長　山岡　久美子

「今日もいいな、すてきだな。」これは４月半ばの登校時のこと。毎日門に立ち、子どもたちを迎えていますが、子どもたちのあいさつがぐんとよくなった感があります。

子どもたちが顔を上げ、こちらの目を見てあいさつする、あいさつを返す。うつむいて門を通りすぎるよりも子どもの様子がよくわかります。常日頃、担任や職員があいさつを意識し、子どもたちに接しているからこそだと思います。

あいさつをなぜするのか、あいさつをするとどういいのか。あいさつはするものとわかっているけれど、そのよさを掘り下げていくことも大事なのかもしれません。

５月２３日に代表委員会が行われました。月に一回、４年生～６年生の代表委員、各委員会の委員長たちが集まり学校をよくするために話し合いをします。子どもたちによる子どもたちのための会議です。今回の議題は「鴨志田緑小学校のスローガンを決めよう」です。鴨志田緑のか・も・み・どの頭文字を使った言葉に自分たちのなりたい姿（想い）を込めています。代表委員会の中で、あいさつがなぜ必要なのかを話し合う場面がありました。「あいさつはするほうもされるほうも気持ちがいい。」「あいさつで感謝の気持ちを伝えられる。」「あいさつすると元気になる。」子どもたちは体験を通して、実感したことを言葉にしていました。実に真理をつかんでいると感心しました。

活発な話し合いの結果、今年度の鴨志田緑小のスローガンが次のように決まりました。

「㋕かがやけ笑顔　㋚もっとあいさつ　�みみんなで仲良く　㋑どんどんチャレンジ」

子どもたち一人ひとりが気持ちのよいあいさつや様々なチャレンジを通して、自分たちの目指す姿（学校）に近づくことができるよう心から祈っています。そして教職員が一丸となって子どもたちを応援・支援してまいります。